

緑あふれる公園に太陽の恵みでエコな明かり 独立電源で防災公園としての役割も充実



導入先

鴻巣市役所さま

- 埼玉/鴻巣市
- 埼玉県ほぼ中央に位置し、人口は約12万人。かつては中山道の宿場町として栄え、ひな人形の産地としても知られる。特産の花や梨の栽培も盛ん。2005年に吹上町・川里町を編入。東京都心へのアクセスも便利で、県央部の中核都市として発展を続けている。



導入商品

ソーラー・LED照明灯 LN-LX1-S×12台

- 2011年4月、整備が進む上谷総合公園の多目的広場（芝生のグラウンド）のオープンに合わせて、周囲の歩道に25m間隔で12台を設置。



こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

上谷総合公園に芝生の多目的広場を整備することが決まり、どのような外灯を設置するかが課題に。明るさやコストだけでなく、環境性能、近隣への配慮、災害時の役割、耐久性などあらゆる観点で検討しました。

太陽光を利用した明かりで環境対策が充実。LEDは虫も寄りにくく、近隣水田に配慮した虫対策も実現。

独立電源だから災害時にも活躍。避難場所の目印になるだけでなく、ドクターヘリの着陸目標にも。

V字型灯具で照射範囲が左右で32mと広く、ポール素材もアルミニウム合金でサビに強い点にも満足。



鴻巣市
都市整備部都市計画課
課長 小彼貞夫さま

■ 導入の背景

緑あふれる上谷総合公園の整備を進めるなか
環境保全や近隣田地に配慮した外灯として着目。

「花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす」を将来都市像とし、それに基づいて様々な施策を展開しており、上谷総合公園の整備もその一つです。新設する多目的広場の外灯として着目したソーラー・LED照明灯は、推進している環境保全の取り組みに合致しており、近隣水田の虫害にも配慮した明かりだと考えました。

■ 選ばれた理由

V字型灯具で照射範囲が左右32mと広く、
ポール素材がサビに強い点を高く評価しました。

25m間隔で設置しても、V字型灯具で照射範囲が左右32mあり、防犯照明の推奨照度クラスB※を満たすことにまず納得。風速60mにも耐える耐風速（設計風速）の強さ、アルミニウム合金で耐久性が高く、表面もサビに強いポール素材を高く評価しました。

※4m先の人の顔の向きや挙動姿勢がわかる照度（日本防犯設備協会「防犯照明ガイド」より）

■ 導入後の効果

夕暮れ時のジョギングや散歩もしやすくなり、
独立電源だから災害時にも役立ちます。

夕方になると、多くの方がジョギングや散歩に利用されており、防犯面からもたいへん喜んでいただいています。また、上谷総合公園は防災公園としての役割があるため、独立電源で災害時にも点灯することは、避難場所の目印やドクターヘリの着陸目標としても役立ちます。

■ 今後の展望

新幹線からもよく見えるため環境啓発にも。
検証データを取りながら今後の導入も検討中。

上越・長野新幹線（大宮～熊谷間）の車窓からもよく見える場所なので、鴻巣市の環境対策のシンボルとなり、広く環境啓発につながっていくことを期待しています。今後、様々な観点で検証を行いながら、公園の整備と環境に配慮したソーラー・LED照明灯の増設も検討していきます。



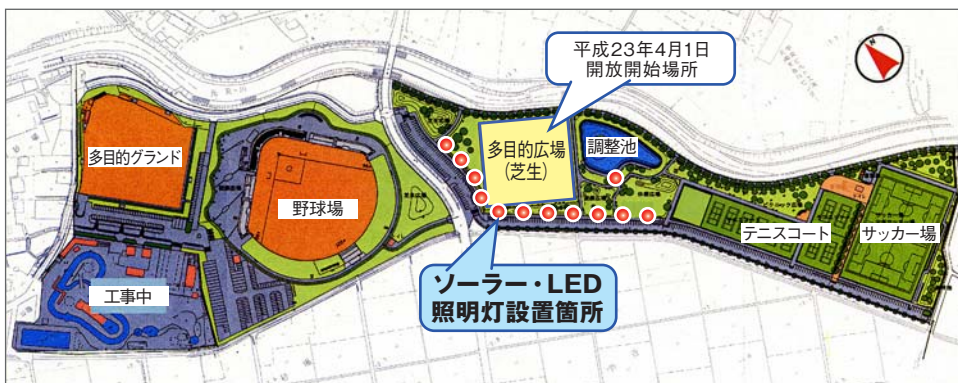
周辺の植栽も計画中。花と緑があふれるなか、太陽の恵みで輝く外灯との調和を目指される



公園周辺は掘るとすぐ水が湧く地盤だが、筒型の銅管を地中に埋め込むポールアンカーシンクレス工法対応のため、低コストで設置できたことも選ばれた理由



多目的広場を囲む歩道を中心に計12基を設置
（施工：株式会社不二電工さま・鴻巣市）



整備が進む上谷総合公園（約16ha）。西側地区には「フラワースタジアム」、多目的グラウンド、東側地区にはサッカー場、テニスコート、多目的広場などを備える